



東京日野プロバスクラブ プロバスだより

令和4年5月19日発行
第136号

創立平成22年9月16日

喜ばば 喜び事が 喜んで 喜び集めて 喜びに来る

令和3年度(2021年度)

会長 澤田 研二

幹事 大島 芳幸

通算118回 (4月21日の例会は開催)

(クラブ第12年度 第11号)

会長挨拶

4月の例会は、実に4カ月ぶりの例会ですが、会員皆様がお元気な姿でご出席いただけたことはこの上なく嬉しい限りです。

さて、4月例会は令和3年度としての10ヶ月目になる例会です。残りは2ヶ月ということです。今年度はコロナ禍の影響で毎年行っている8月の納涼例会、1月の新年例会がともに中止となり、例会での会員同士の触れ合いの機会がなかなか取れず、とにかく蔓延防止が解除されコロナが落ち着き、例会が可能になったらぜひ懇親主体の例会を

しようと四役会で話し合い、理事会でも全会一致で実施の運びとなりました。

会場が高幡不動尊例会場ということもあり、食事は精進料理で少し豪華版にしたもので好評でした。

皆さん久しぶりの顔合わせであり、また一献傾けながらの会でもあったことから、桜の花は終わっていましたが、お互いのお話が盛り上がり、楽しいひと時を過ごせた事と思います。

また、この会で皆さんにウクライナに対する道義的支援のお願いをしましたが、多くの皆さんの協力を頂きました。4月例会の欠席者には別途趣旨をお伝えし、5月例会にて協力願うこととしました。また、クラブとしてもきずな預金から一定額を支援していくこととしています。皆様のご理解とご協力をお願いします。



会長 澤田研二

今日のコラム

最近のベストセラーで「80歳の壁」とい本があります。

私は、今年丁度80歳を迎えてこれからの行く末に関心と興味を持って読みました。

80歳の壁を超えたら、人生で1番幸せな20年が待ってますヨ！との夢を追いかけております。

老いを受け入れ、できることを大事にする。80歳からの人生は70代とはまるで違ってきます。

昨日まではできていたことが、今日はできないという事態に何度も遭遇します。

体の不調も多くなりますが、脳梗塞、心筋梗塞、肺炎など、命に代わる病気も発症しやすくなります。「認知症かな」と自信をなすことこともあるでしょう。配偶者や身近な人の死を経験し、孤独や絶望を感じるかもしれません。

「生老病死」の大きな壁が怒涛のように押し寄せてくるのです。

この本は、目の前に現れる壁を越えていくヒントを様々に提示していきますが、突き詰めるとそれはたったひとつの考え方に集約できます。『老いを受け入れ、できることを大事にする、』という考え方です。

これが幸せな晩年と不安・不満足な晩年の境目になると思います。幸せとは本人の主観によるものです。

つまり、自分がどう考えるかによって決まってくるものでしょう。答えは本人にしかわかりません。

今まで日本では65歳以上を「高齢者」75歳以上を「後期高齢者」と呼んでいます。でも、「高齢者」も「後期・・・」も何だか言葉の響きが寂しくありませんか。

そこで提案したいと思います。80歳を超えた人は高齢者ではなく「幸齢者」。これなら敬意も表せるし、温かみもあります。

プロバスクラブでは、80歳オーバーを「幸齢者」と呼びたいと思います。

情報委員長 山本 英次

例会委員会 五加 治

新

型コロナの「まん延防止」が解除となり4月例会が開催できたことでホッとしました。

当日は例会の後「懇親会」も開催でき久しぶりに皆さんと会食を楽しむことが出来ました。

ゴールデンウィークも行動制限のない外出も可能となり、観光地では渋滞が出来るほど賑わっていました。

本年度例会委員長として5月・6月の例会がほぼ開催できそうです。本年度も新型コロナで揺れ動かされ、変則的な開催でしたが会員に一人のコロナ感染者が出なかったのが救いでした。残り2か月の例会が無事開催できるよう頑張ります。

会員委員会 後藤 紀之

久

し振りに例会が開催され皆様と元気にお会いすることが出来、非常に嬉しく思っています。お待たせ致しましたが、新会員手帳がようやく出来

上がりまして今日配布させて頂きました。これからは2~3年に1度の発行となる予定ですので、会員の方々についてはシールで対応して行きたいと思っています。

又、何人かの方が入会されたいとの情報も入っていますので楽しみにしております。

1日も早いコロナの収束を祈っています。

地域奉仕委員会 林 良健

3

年間、コロナ禍で、対外的奉仕活動は、休止状態です。

地域奉仕委員会活動は、①支援活動(日野市社会福祉協議会、東京光の家、夢ふうせん) ②地域行事参画(たかはたもみじ灯路、ひの新選組まつり、ひのよさこい祭) ③地域奉仕活動(日野市ボランティアセンター地域支援、放課後子ども教室支援、地域コーディネーター支援)の3つの事業を実施計画していました。

今は、プロバス、独自の企画で地域奉仕活動が出来ることを模索中です。

コロナ禍でも支援可能な活動内容を、子ども部子育て課、日野市ボランティアセンターの方々と検討中です。

東京日野プロバスクラブ公式 HP

URL: <https://www.hinopc.com>



スマホをかざしてご覧ください

研修委員会 久保 正男

コ

ロナ感染者数も日1日と減少しており、長かったコロナ生活の卒業は間近い最近の状況です。しかし、まだまだ油断は禁物です。

研修委員会では残り少ない期間となってしまいましたが、研修講話、研修ツアーの開催が今年度中(澤田年度)に実施できることを願っております。

特に、研修ツアーについては、会員多数の参加が絶対条件のため無理や強引に実施することもできないため、時期を見計らい、アンケートを集めるなどして改めて検討することとします。

情報委員会 山本 英次

ウ

クライナ情勢が混沌としている中で、アメリカ政府は、195億円の追加軍事支援を行うと発表し、ウクライナの戦局を好転するために武器・弾薬の供給を続ける。また、ドイツはドイツ製の自走式対空砲ゲバルト50両を提供し、ウクライナ兵の訓練も行うことを表明した。戦争当事国への武器供与などは、将に死の戦争商人さながらである。敗戦国・日本人としてはとても他人ごとでは考えられない。

米国に追従ばかりの日本政府には、解決の為の努力を期待する。

今月のニコニコワンコイン

*篠原 昭夫さん。

91歳の誕生日を迎えて

「支えられ、卒寿の歩み 謝する春

*澤田 研二さん

お久しぶりです。

今日は久しぶりの例会で皆さんの元気な顔を拝見して嬉しい限りです。

*林 良健さん

久しぶりの例会が誕生日でありありがとうございます。

*仲村 房次郎さん

無題、本日急に出席できなくなり、申し訳ございません。大嶽部屋の「大鵬」の記念碑、除幕式の打ち合わせのため。

*後藤 一郎さん

祝 一同再会!

*山本 英次さん

祝! 「80歳の壁」を乗り越えました!

【これまでの累計金額 27,500円】

誕生日を迎えて 林 良健 会員

誕生日を迎えて…… 毎年「誕生日の意義」を考えて、次のことを実践しています。

- ◇生まれた本人を祝うのではなく、両親を祝い感謝する。 ◇
- 誕生日は、子どもになれる日
- ◇親、先祖に感謝する日
- ◇両親へ、感謝を深める日
- ・両親のことを思い出す。
(誕生日、結婚、命日)
- ◇配偶者への思いやり！
- ・配偶者の両親に感謝する。



今年の誕生日おめでとう

喜寿・久保氏と喜寿・土方氏



1月度：矢野、保母、奥の各氏



3月度：久保、篠原の両氏



情報委員会

山本 英次 魚住 徹 小林 昭治
 篠原 昭雄 土方 尚功 太田 健
 村田 博

田口賀夫氏を偲ぶ

4月19日に田口氏享年79歳の訃報が伝わり、プロバスのラインやメール網に、多数の哀悼と弔意が寄せられた。



穏やかなお人柄を偲び、大変なゴルフ好きであったとの楽しい思い出を記すメッセージが多かった。

田口氏は2013年に入会、直後よりほぼ全てのゴルフ同好会コンペに参加し優秀な成績を収めた。2014年を振り返ると、5月に多摩地区3プロバスコンペ、9月には韓国済州島への遠征ゴルフ(写真)、10月は名門・小金井カントリーでロータリークラブとの日野3クラブコンペ。12月にクラブ独自コンペで3位。

氏よりも10日だけ年少の下名が、多い年は年に90回もプレーしたとお話したところ、氏は「自分はもう少し多い、100ラウンド以上かな」とほほ笑んでいた。例会での会員スピーチも実務経験に裏打ちされた素晴らしい講演だった。「たかが牛乳、されど牛乳」と謳い、長年勤務された明治乳業を詳述し、酪農全般に触れ、牛乳の歴史に関する蘊蓄も披露された。(参照：会報48号)その後、腰を痛み手術も受けたが好転せず、2019年に休会、20年にはプロバス退会を余儀なくされた。奥様は日野市教育界をリードした賢婦人だったが、惜しくも2015年3月に先立たれた。天国で愛妻と再会され穏やかな会話を楽しまれていることでしょう。合掌。

(矢野凱弓、ゴルフ同好会15~19年会長)

理事会・幹事報告

幹事 大島 芳幸

- *4月21日の例会は、高幡不動の精進料理と酒類を提供し、会員相互の懇親に重点をおいた例会となりました。
- *第30回浅川リーン作戦に当クラブから7名が参加
- *ウクライナに対する人道支援金募金箱を設置
5月中にきずな金より補填し、日野市を通じて日本赤十字社へ寄付予定
- *全日本PC協議会古賀会長より次年度に監査役受任依頼あり





4月17日好天にめぐまれ、浅川クリーン作戦に参加してきました。参加者 左上より宮地会員・横山会員・渡辺会員・保母会員・手前左 矢野会員・大島会員 (山本会員は写真班)

澤田 研二会長 祝 藍綬褒章 受章!!



当クラブ会長の澤田 研二会員が昨春「藍綬褒章」を受賞されました。

昨年はコロナ禍で祝賀会も延期となっておりますが、本年4月24日に京王プラザ多摩にて開催され、コロナ禍のなか、久しぶりに嬉しく明るく楽しい祝賀会でした。

まさに、本年度の会長ターゲット”喜ばば 喜びごとが喜んで 喜び集めて 喜びに来る“を具現する祝賀会となりました。当クラブからも 12名が参加してお祝いしてきました。



全日本プロバス協議会ニュース

全日本プロバス協議会

「東京八王子2022」に皆様を大歓迎



東京八王子プロバスクラブ
東京八王子大会 事務局長 持田 律三

当クラブは1995年に設立、昨年25周年を迎えました。昨年度は記念行事をいろいろ企画致しましたが、コロナ禍により中止、延期などを余儀なくされました。今年度は7月にスタート致しましたが、With Corona で進まざるを得ない状況です。2022年秋にはコロナの収束を望み、全日本プロバス協議会第10回総会・東京八王子大会を是非盛大に開催し、皆さまをお待ちしたいと思っております。ここで、東京八王子大会の概要と当クラブの紹介をさせていただきます。

今月の終わりの挨拶 副会長 宮地公平

抜歯の痛みになんて耐えかねて、今月は「お休み」です。「鬼の攪乱」(失礼!)と驚きの声が多く聞かれました。留守中の例会は、ビール瓶の林立するコロナを忘れる例会となりました。 矢野氏撮影の例会風景



林委員長の地域奉仕
委員会報告
司会は五加例会委員長
持田料理と飲み物で
懇親会、大盛り上がり
誕生月 又じー
2022.4.21